

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業名	騒音・振動対策事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	環境政策・放射能対策課			
施策	2-1	豊かで美しい生活環境の創造		主管課長	染谷 忠美			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市民及び事業所	意図	騒音及び振動を防止し、市民の生活環境を整える。
事業内容	騒音及び振動の測定並びにその発生源への指導を行うことにより、市民の健康で安全かつ快適な生活環境を整える。			
事業開始から現在までの状況変化	これまでは工場等の事業所や建設工事、自動車の交通騒音及び振動の問題が多かったが、現在はそれらに加え、店舗や近隣住民が出す騒音も問題になっている。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	特定建設作業に係る届出件数	394	445	509	件	↑↑↑
②	特定施設の設置届け出件数	5	28	7	件	↑↑↑	
③	道路騒音・振動調査	8	8	8	件	→→	
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果				目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・市民からの振動、騒音の苦情に対して、職員が機器を持ち込み、測定を実施している。
事務事業のコスト	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
事務事業の総コスト(a=b+c)	3,087,338	3,386,644	3,447,484	
事業費(b)(円)	1,705,338	1,880,644	2,074,484	
うち一般財源	1,705,338	1,880,644	2,074,484	
職員給与費(c)(円)	1,382,000	1,506,000	1,373,000	
人役・職員(人)	0.20	0.20	0.20	
人役・再任用(人)				
人役・臨職(人)				
人役・嘱託(人)				
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）				
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）				

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H28)の改善計画	事務改善を行い経費の削減を図る。	③取組の課題	職員には人事異動があることから、測定する職員が偏らないようし、皆が測定する技術を持つようする。
②今年度(H28)に実施した取組	特定建設作業の届出の電子記録の簡略化。	④今後の改善計画	振動、騒音の技術研修への積極的な参加。